

## 令和3年度 佐久地域雑草イネ対策プロジェクトチーム

### 合同班会議を開催しました

令和3年度 佐久地域雑草イネ対策プロジェクトチーム合同班会議を7月30日金曜日にJA佐久浅間野沢支所にて開催しました。

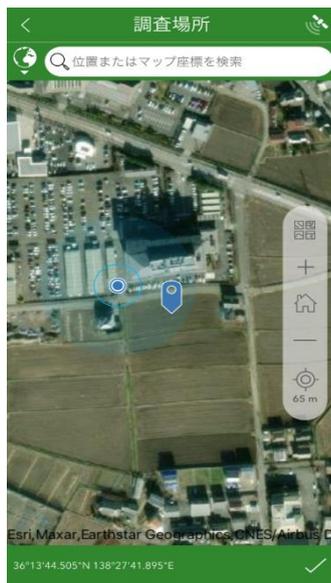
雑草イネとは、水稻の収量や品質を低下させてしまう厄介な水田雑草です。近年、全国的にも問題になっており、佐久地域でも発生が確認されています。また、脱粒しやすいことなどから容易に発生拡大してしまい防除も難しいため、地域が一丸となって対策を講じていく必要があります。

これまで、発生しているほ場を白地図に記録して現状調査してきました。しかし、調査結果を関係機関で共有しにくかったり、引継ぎが困難であったりしていました。

そこで今回は、信州大学の渡邊修准教授を講師としてお招きし、スマートフォンのアプリを活用した、新たな調査方法について助言をいただきました。

また、プロジェクトチームはJA佐久浅間、佐久市、小諸市、佐久穂町、御代田町、立科町、NOSA I長野佐久支所により構成されており、4地域（さく、浅麓、川西、臼田）ごとに班を設置して活動しております。今回の会議の中では、それぞれの班の活動状況についても共有しました。

各班で広報や防除対策の検討を行っておりますので、これらの更なる拡充を行い、雑草イネの発生面積を減らせるように取り組みたいと考えております。



(例) スマホの位置情報を用いて調査結果とほ場を結びつける



例) 雑草イネ（籾の先が赤いのが特徴）



例) 会議の様子